

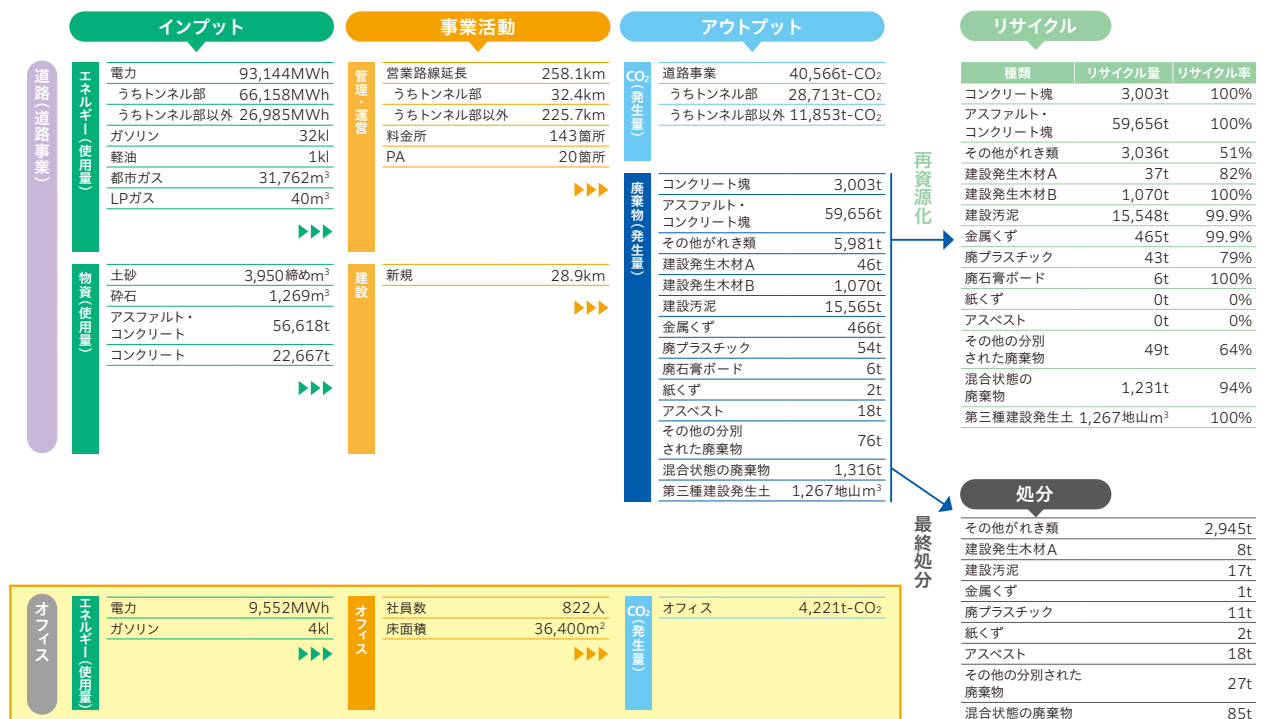


循環型社会の形成

限りある資源を有効に活用し、環境負荷を低減させるため、より付加価値の高い再生材の利用方法に着目し、建設副産物をはじめとする廃棄物の3R (Reduce (発生抑制)・Reuse (再利用)・Recycle (再生利用))に取り組んでいます。また、グリーン購入法に沿った調達方針を定め、環境負荷の少ない資材の調達を推進し、調達可能な事務用品については、グリーン調達率100%を目指しています。

廃棄物の削減、資源の循環的利用の促進 (3Rの推進)

〈マテリアルフロー図 阪神高速道路(株)単体 2023年度〉



※ 当社事業で使用するエネルギー・物資の入手から、リサイクル・処分までの流れを示しています。

パーキングエリアにおける廃棄物の削減

賞味期限近の商品の割引販売や「てまえどりPOP」の陳列棚への設置などにより、お客さまとともにフードロス削減に取り組んでいます。また、レストランなどから出る廃食用油については、すべてリサイクル処理を実施しています。



てまえどりPOP

横断幕再生プロジェクト

阪神高速道路上に掲示し工事や通行止めなどの情報をお知らせしていた横断幕をリサイクルする「横断幕再生プロジェクト Re: loop 阪神高速」を実施しています。カラフルで雨風に強い素材の特性を生かし、バッグなどに再利用しています。

また、使用済み横断幕を企業・団体に無償で提供し、有効活用していただく取り組みも実施しています。



横断幕再生バッグ